

「たびレジ」は外務省が行っている海外旅行者向けの無料メール配信サービスで、旅行日程や滞在国、連絡先を事前登録しておく、現地の最新の安全情報などを日本語で受け取ることができます。また、企業・団体等向けに、出張者情報などを自動登録できる「データ連携」も行っています。

安心ポイント1 最新の安全情報の提供

大使館・総領事館が配信するメールで、現地の最新の安全情報を日本語で知ることができます。

安心ポイント2 緊急時の連絡

旅行先の国・地域で大規模な事件・事故・災害などが発生したときは、登録してある連絡先に連絡が届きます。

安心ポイント3 お役立ち情報提供

旅行日程を登録すると、旅行先にある大使館・総領事館の連絡先や旅行先の安全基礎情報などが届きます。

「たびレジ」メール例

在ベルー大使館からの安全情報（火山活動の活発化）

ベルー南部サバカンカヤ火山の活動が活発化。最新の情報を入手し、十分注意してください。

（上記、一部抜粋）

在サンパウロ総領事館からのお知らせ（被害速報）

平成××年×月×日 以下の通り、邦人が被害者となる銃器使用強盗事件が発生しました。ご注意ください。

（上記、一部抜粋）

登録方法

パソコンやスマホで確認用のメールアドレスを登録

たびレジ 検索

www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/

旅行日程、滞在国、連絡先を登録

登録完了!

※海外でメールや電話連絡を受信する際は通信料が必要となる場合があります。 ※機種によっては旅行先でメールを受け取れない場合があります。



お問合せ先

外務省領事局政策課03-5501-8000(内線5370)

約一六〇〇人の安否確認を完了し、二人の死傷者が報告された。数時間後、先発したトレッキング隊とも連絡がとれ、全員が無事が確認されたが、問題は帰国便の確保だった。麓のルクラの飛行場は下山した登山客でごった返し、カトマンズ便も満足に飛ばない。そこでネパール東部のピラトナガルに飛び、迂回してカトマンズに入る計画をたてた。こうしてトレッキング隊は、

被災して一週間後の五月二日に無事帰国することができた。一方、登山隊はゆっくり下山することにし、途中の村々で登山用の薬や食料を被災者に配った。目標のエベレスト登山はできなかったが、少しでも被災民の復興の励みになればという思いだった。近藤さんが帰国したのは、一カ月後の五月二〇日。「緊急時は、情報が重要で。その点、衛星電話が使えたのは



こんどうけんじ

1962年6月30日生まれ。23歳で冬季エベレスト北壁で8450mに到達し、世界最高到達点を記録。エベレスト登山6回。1998年、山岳ツアーの旅行会社アドベンチャーガイドの資格を持ち、山の日アンバサダーも務める

幸いでした。いち早く安否確認ができ、ルクラやカトマンズの情報も正確に得られましたから」海外では、いざというとき迅速的確な情報が何よりも重要。海外に行くときは外務省の無料メール配信サービス「たびレジ」を利用すれば、渡航先の最新安全情報を得られる。近藤さんも今では、衛星電話に加え「たびレジ」も情報を得る必須アイテムとして活用しているそうだ。

2016年5月19日、エベレスト・サウスコルから登頂する近藤さん（左）



海外で「もしものとき、あなたは大丈夫?」
ネパール大地震で被災した
近藤謙司氏の体験。

海外で緊急事態に遭うなんて、めったにないこと。多くの人がそう油断していないだろうか。

二〇一五年四月二十五日、国際山岳ガイドの近藤謙司さんは、エベレスト登山中にネパール大地震に襲われた。自社が公募した登山隊とともにベースキャンプに滞在していたときのことだ。その日朝九時、先に帰るトレッキング隊を見送ると、近藤さんはテントの設営作業に追われた。午前十一時五十分、突然、大地を覆う水河が不気味に揺れた。「まさかネパールで地震なんて。最初は足もとの水河が陥没したのかなと思ったんです」と、近藤さんは当時を振り返る。

慌ててテントを飛び出すと、周囲の山から異常な轟音が聞こえた。雪崩だ! 走りだしながら、「テントに入るな!」と大声で叫んだ。近くの石で組んだお祈り台の陰に隠れた瞬間、す

猛烈な爆風で、ベースキャンプのテントや登山用具などが最大200m近く吹き飛ばされた



さまじい爆風が通りすぎた。その間、わずかに数秒。マグニチュード七・八、ネパールでは八一年ぶりの大規模な地震だった。幸い、ネパール人スタッフ二人の軽傷以外、全員無事だった。一〇〇人以上いたキャンプ地は死者一九人の大惨事となった。衛星電話が通じると、すぐに日本とカトマンズの事務所に連絡。カトマンズの事務所から日本大使館に安否情報を伝えた。ちなみに大使館では、五月六日までに邦人の在留登録者および短期渡航者（三カ月未満）